

第125回小金井市新型コロナウイルス感染症対策本部部会会議録	日時	令和4年6月7日(火) 9:20~9:32	場所	第一会議室
出席者	西岡市長、小澤副市長、天野企画財政部長、藤本庁舎建設等担当部長、加藤総務部長、西田市民部長、中谷福祉保健部長、若藤都市整備部長、大津学校教育部長、梅原生涯学習部長、柿崎環境部長、堤企画政策課長、石原健康課長、田嶋新型コロナウイルス感染症対策担当課長、廣田広報秘書課長、宮腰地域安全係長			
付議事項	1 新型コロナウイルスワクチン接種について 2 各部連絡事項			
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症予防接種証明書コンビニ交付サービスに関する規約(案) ・都立・公社病院「コロナ後遺症相談窓口」の相談データ分析 ・新型コロナウイルスの後遺症について(リーフレット) ・基本的な感染防止対策の継続 			
<p>(進行：福祉保健部長)</p> <p>(市長)</p> <p>・感染状況は落ち着きつつあるが、小金井市の累計要請者数は1万人を超え、12人に一人が感染したことになる。引き続きワクチン接種・感染症対策と、社会経済活動の両立を目指した取り組みや様々な支援策にもご協力いただきたい。</p> <p>・最近では、市内においても土・日曜日に、イベント、会議、式典などが再開されてきており、会場に伺うと、皆さんそれぞれが感染症対策に取り組みながら、活動にご尽力いただいていることを痛感する。</p> <p>・ワクチン接種については、医師会、薬剤師会、訪問看護連絡会、担当職員、受託者が緊密に連携を取りながらご尽力いただいております、感謝申し上げます。また、6月11日からは旧西友ビルでの4回目接種も始まる。円滑にワクチン接種が進むよう、引き続き尽力してまいります。</p> <p>1 新型コロナウイルスワクチン接種について (健康課長)</p> <p>・新型コロナウイルス感染症予防接種証明書コンビニ交付サービスに関する規約(案)が示されたので、資料として提出させていただきました。夏頃からサービス提供開始予定とのことである。13条に料金についての規定があり、発行料は120円となっているが、住民票の発行と異なり、手数料扱いではなく、利用者が実費をコンビニに支払うとの考えを国が示しているため、少なくとも令和4年度中は手数料条例の制定の必要はない。</p> <p>(市長)</p> <p>・接種証明書を交付できるのはマイナンバーカード保持者との認識でよいか。</p>				

(健康課長)

- ・お見込みのとおりである。マイナンバーカード保持者が交付を受けることができる。

(福祉保健部長)

- ・市の予算への影響は生じるか。

(健康課長)

- ・令和4年度中に市の負担がないことは明言されている。令和5年度以降は未定であるが、システムの年間契約手数料が数万円程度が発生すると聞いている。

2 各部連絡事項

(健康課長)

- ・東京都のコロナ後遺症相談窓口でのオミクロン株についての相談データがまとまり、情報提供があったので、資料として配布させていただいた。また、後遺症についての東京都作成のリーフレット、基本的な感染症防止対策の継続の資料(国のマスク着用に関する取扱いを基に東京都が作成)を併せて配布させていただく。

(福祉保健部長)

- ・後遺症に関する窓口は、健康課と市内医療機関という認識でよいか。

(健康課長)

- ・リーフレットでは、北多摩南部の圏域の中で多摩総合医療センターが後遺症の相談窓口を設けている。直接、外来での受診はできないので、市内医療機関又は相談窓口で相談したうえで、受診いただくことが想定される。なお、公立昭和病院に問い合わせたところ、後遺症専門相談窓口は設けていないとのことであった。

(市長)

- ・後遺症へ対応については、注目している。重度、中症、軽症に関わらず、さまざまな症状が現れており、未解明な部分が多い分野だと認識している、市民の皆さんには適宜、適切な情報発信をお願いしたい。

(福祉保健部長)

- ・リーフレットの内容を含め、市内医療機関や市民への周知については丁寧に行っていただきたい。また、マスク着用に関する資料についても参考にし、ご準備いただきたい。